

中学校生徒心得

生 活 目 標

- 1 豊かな心を培い、心のこもったあいさつ、適切な言動ができるように努めます。
- 2 よく考え、めあてをもって、すすんで学習に励みます。
- 3 仲良く助け合い、協力し、思いやり、すすんで仕事をし、自分の道をめざします。
- 4 健康・安全に気をつけ、体力の増進に努めます。

1 登校・下校

- (1) 登校【8：15までに登校できない場合は遅刻とする。】下校時刻【帰りの会終了後すぐ】を守りましょう。
- (2) 交通規則を守り、事故がないようにしましょう。

2 朝会

- (1) 敏速に集合・整列し、係の司会で朝会を進めましょう。
- (2) 反省・努力事項などを大きな声で発表し、よく聞き、実行できるように心がけましょう。

3 授業

- (1) 始業前に準備を済ませた状態で着席し、心静かに学習開始を待ちましょう。
- (2) 始め・終わりのあいさつをしっかりとしましょう。
- (3) 授業に遅れた場合、その理由を先生に報告しましょう。
- (4) 授業中に席を離れる場合は、先生に届けましょう。
- (5) 授業中は制服で受けることを原則とし、体育など指導者から許可を得た場合はこの旨ではない。

4 給食

- (1) 食前の手洗い、食後の歯磨きをしっかりとしましょう。
- (2) 白衣・帽子・マスクを着用し、配膳をしましょう。
- (3) 食事の始まり、終わりのあいさつをしっかりとしましょう。

5 清掃作業

- (1) 身軽な服装で、健康・安全に注意して作業しましょう。
- (2) 清掃区域や役割を分担し、効率をあげるように工夫しましょう。

6 放課後

- (1) 整理整頓・戸締まり・消灯をして下校しましょう。
- (2) 部活動では、顧問の先生の指導と注意をきちんと守りましょう。

7 制服

- (1) 服装は、清潔・端正なものとしします。
- (2) 男子制服は、冬服は詰襟・黒長ズボンとし、夏服を半袖開襟シャツ・黒長ズボンとしします。

- (3) 女子制服は、冬服を紺地に緑色2本線のセーラー服・グリーンネクタイとし、夏服を緑色2本線の白半袖・グリーンネクタイ、そしてスカートとします。
- (4) 冬期は制服の下に防寒着を着てもよいが、白・黒・紺などの目立たない色とする。
- (5) 冬の防寒着(マフラー等)については、玄関まで着用可。
- (6) 衛生面を考慮して、夏服の代わりとして半袖ポロシャツでの登下校を認める。ただし、学校行事など指示がある場合は、その指示に従い制服を着用すること。
ポロシャツは、無地の白・黒・紺を基調としたものとする。
制服の移行期間はありません。自分の体調に合わせた服装をしましょう。

8 髪型

- (1) さっぱりした髪型とし、前髪は目にかからないようにします。また、後ろ髪が肩にかかる場合は、きちんと結びます。髪を結ぶゴムの色は黒・紺・茶のいずれかとします。

9 靴・靴下

- (1) 通学の靴及び靴下は、原則として白の運動靴及びくるぶしが隠れる長さの白・黒・紺・グレーを基調とした靴下で、ワンポイントまで認めます。
- (2) 上履きは白を基調としたシューズを使用します。
- (3) 体育館では、体育館シューズを使用します。

10 体育時の服装

- (1) 原則として学校指定の白のTシャツに、ハーフパンツを着用します。冬季はジャージの着用を認める。
- (2) 原則として白の運動靴を使用します。

11 その他

- (1) 欠席、遅刻、早退や負傷、病気、その他事故があった時は、保護者を通じて学校に届けましょう。
- (2) 休業中、校舎や学校の道具を使用する時には、学校の許可を得ましょう。
- (3) 生徒のみでの帰宅時刻以降の夜間外出・外泊を禁止します。帰宅時刻は4月～9月は午後6時、11月～2月は午後5時とします。10月・3月の帰宅時刻は午後5時半とします。春休み以降の帰宅時刻は午後6時とします。
- (4) 携帯電話の持ち込みは禁止とします。
- (5) 釣りをするときや船に乗るときは、必ずライフジャケットを着用します。
- (6) 釣りをするとき、安全面を考慮して、原則として保護者同伴とします。
- (7) 海水浴は、必ず保護者の監視のもとで行います。
- (8) 生徒のみでのゲームコーナーへの立ち入りを禁止とします。
- (9) インターネットカフェ・マンガ喫茶への立ち入りは、大人同伴であっても禁止とします。

＊ この生徒心得は、必要に応じて児童生徒会や職員会議で内容を協議し、話し合いで承認された場合、補足・削除することがあります。